

障害者虐待の通報・届出の受付状況等
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

●障害者虐待の防止、障害者の養護者に関する法律に基づく対応状況等に関する調査(平成28年、厚生労働省)の結果に基づいています。

1 (1)障害者虐待の通報等の受付及び対応状況

			養護者 による虐待		施設従事者等 による虐待		使用者 による虐待		合計	
			県受付分		県受付分		県受付分		県受付分	
通報・届出 受付件数			197 (13)	3 (▲3)	83 (6)	17 (5)	32 (▲1)	13 (▲5)	312 (18)	33 (▲3)
事 実 確 認 あ り	虐待が 認めら れた件 数	対応中	45 (9)		3 (▲6)	0 (▲1)	【参考】千葉労働局の対応		48 (3)	0 (▲1)
		対応終結	39 (8)		13 (2)	3 (2)	18 (10)	5 (2)	70 (20)	8 (4)
		小計	84 (17)		16 (▲4)	3 (1)	18 (10)	5 (2)	118 (23)	8 (3)
	虐待なし・判断つかず		89 (11)		48 (▲3)	12 (3)				
	事実確認未実施		27 (▲19)		27 (8)	5 (0)				
計			200 (9)		91 (1)	20 (4)				

○本表は、平成27年4月1日～平成28年3月31日に通報等があった事案について、平成28年3月31日時点での対応状況を集計したものです。
()内の増減は前年度との比較を表しています。(▲は減少)
「対応中」：虐待の事実があり、支援方針を検討中又は実際に支援中の事案 等
(県に報告や通知をした場合でも、当該虐待対応の一環として被虐待者への何らかの支援等の
検討や実施が続いている場合を含む)
「対応終結」：虐待の事実を確認し、必要な措置や支援を行って終結した事案
※前年度以前からの繰り越し分を含むため、通報・届出受付件数と対応結果の合計数は一致しません。
※使用者による虐待認定は千葉労働局が独自に通報受付したものを含みます。
※斜線部分は調査の対象範囲外であるため、記載をしておりません。

(2)通報・届出者の種別にかかる内訳および通報件数

	養護者による虐待		全体に占める割合		通報件数	
	種別		H27	H26	H27	H26
家庭	本人、家族・親族、虐待者自身		29.70%	37.80%	60	71
施設	施設・事業所の職員、相談支援専門員、介護保険法に基づく居宅サービス事業等従事者等		31.70%	28.70%	64	54
行政	市町村行政職員、警察、教職員		25.20%	13.80%	51	26
地域	医療機関関係者、近隣住民・知人、民生委員、成年後見人等		5.90%	8.50%	12	16
その他	その他、不明		7.40%	11.20%	15	21
			100.00%	100.00%	202	188

	施設従事者等による虐待	全体に占める割合		通報件数	
	種別	H27	H26	H27	H26
家庭	本人、家族・親族	41.90%	34.60%	39	27
施設	職員、元職員、設置者・管理者、相談支援専門員、他の施設の職員、介護保険法に基づく居宅サービス事業等従事者等、施設利用者、実習生	34.40%	46.20%	32	36
行政	市町村行政職員、警察、教職員	4.30%	0.00%	4	0
地域	医療機関関係者、近隣住民・知人、民生委員、成年後見人等	5.40%	7.70%	5	6
その他	その他、不明	14.00%	11.50%	13	9
		100.00%	100.00%	93	78

	使用者による虐待		全体に占める割合		通報件数	
	種別		H27	H26	H27	H26
家庭	本人、家族・親族		50.00%	61.80%	17	21
施設・ 職場	相談支援専門員、施設・事業所の職員、管理者、職場の同僚、介護保険法に基づく居宅サービス事業等従事者等		20.60%	14.70%	7	5
行政	市町村行政職員、警察、教職員		5.90%	0.00%	2	0
地域	医療機関関係者、近隣住民・知人、民生委員、成年後見人等		0.00%	2.90%	0	1
その他	その他、不明		23.50%	20.60%	8	7
			100.00%	100.00%	34	34

○％は全体の通報に占める割合を表しています。
○ひとつの事案に対し、複数の種別から重複して通報が入る
場合があり、実際の通報届出受付件数と異なります。
○小数点第2位を四捨五入しています。

2 障害者虐待の種類、被虐待者の障害種別の状況（虐待が認められた事案の詳細）

(1) 虐待の種類 (単位：人)

	養護者 による虐待	施設従事者等 による虐待	使用者 による虐待	合計
①身体的虐待	50	19	2	71
②性的虐待	4	0	0	4
③心理的虐待	29	22	8	59
④放棄、放置（ネグレクト）	17	1	0	18
⑤経済的虐待	19	21	46	86
計	119	63	56	238

○本表は、1に掲載した虐待が認められた事案（118件）について、虐待の種類を集計したものです。

○ひとつの事案に複数の被虐待者がいる場合や、被虐待者が複数種類の虐待を受けた場合、それぞれ重複してカウントしているため、実際の虐待認定件数と異なります。

※26年度分調査では、ひとつの事案に複数の被虐待者がいる場合を考慮しない形式だったため、27年度分の数字と比較を行っておりません。

(2) 被虐待者の障害種別 (単位：人)

	養護者 による虐待	施設従事者等 による虐待	使用者 による虐待	合計
①身体障害	18 (8)	7 (2)	10 (10)	35 (22)
②知的障害	42 (9)	22 (0)	14 (6)	78 (15)
③精神障害	29 (1)	27 (21)	25 (25)	81 (47)
④発達障害	3 (3)	1 (1)	2 (1)	6 (5)
⑤難病等	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
⑥その他・不明	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
計	93 (22)	58 (25)	51 (42)	202 (89)

○本表は、1に掲載した虐待が認められた事案（118件）について、被虐待者の障害種別を集計したものです。

○被虐待者が複数の障害を持つ場合、それぞれ重複してカウントしているため、実際の虐待認定件数と異なります。

○()内の数字は前年度より増加した件数を表しています。